

徳川家康はどんな人物だったのか

徳川家康は(1543~1616)73歳で死去。

竹千代は今川の人質とはいえ特別な扱いであった。何故か?義元は息子のできが良くないので、竹千代を息子の補佐役にと考えたのではないか.....

*今川の軍師「セッサイ」は、興津の清見寺の和尚。義元の側近中の側近

*安城の信長の弟信康を生け捕りにするように進言したのはセッサイ、そして、竹千代と交換させた。人質とはいえ扱いは別で、セッサイから教えを受けた。

*元康の初陣は家老酒井忠次の活躍で勝利する

*桶狭間で義元が討たれ、元康は岡崎の大樹寺へ逃げ帰る。ここで松平家の墓前で自刃しようとして、住職の登誉上人にいさめられ、「厭離穢土欣求浄土(えんりえどごんぐじょうど)」と書かれた旗を立てて立てこもった。けがれた世を嫌い、戦のない浄土をめざす... という意味。この時元康 19歳でやっと岡崎に帰ることができた。

*1554年村木砦の戦い

*1560年桶狭間の戦い 今川義元死す

*1562年清州同盟

家康は信長にたてつくことはせず、東へ勢力を伸ばしていく。

*1564年三河一向一揆... 槍の名人本多忠勝が活躍、この忠勝は竹田信玄に「家康に優ものあり」と言わしめた人物。

*家康は健康に気を使い、食にこだわり薬草園を栽培。浜松付近で丸子のとろろ、卵ふわふわ、レンコンなどが知られている。

*家康最大の負け戦

1572年 29歳で浜松に進出 31歳の時 51歳の竹田信玄と 1572年合戦、こてんぱんにやられる。

武田勢 25,000 に対し、家康 8,000 信長の援軍 3,000 の 11,000 で迎え撃つため浜松城にこもる。しかし、二俣城を蹴散らした武田勢は浜松城を無視して素通りする。これに腹を立てた家康は総攻撃をかけて三方が原へ。しかし、これが信玄の策略で待ち構えていて、こてんぱんにやられ、家康の身代わりとして多くの兵が死んだ。家康は命からがら逃げ帰る。

このあと信玄が病で倒れ武田軍は退却する、家康には運があったということ。

このことから家康は「家臣こそわが宝」と考えるようになった。さらに、これを忘れないようにするため、しかめっ面のわが身を描かせたという。

この戦いは多勢に無勢、負けるべくして負けた戦だった。

***1575年長篠の戦い**

武田が滅びた後、家康は武田の有能な武将をめし抱えている。倒したあとは味方に引き入れており、ここが一人残らず殺した信長との違いである。つまりは、人を旨く使いきったことで天下統一を成し遂げた。

***1582年本能寺の変**

*家康の面前で居眠りした坊主、家康はそれを許し「可睡」と...

***1600年関ヶ原の戦い**